

## 令和5年度 学校経営計画書 (自己評価)

学校番号	32	学校名	静岡県立清水西高等学校	校長名	堀之内 育子
------	----	-----	-------------	-----	--------

本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	知力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日1時間以上家庭学習に取り組む生徒60%以上</li> <li>・テスト前学習実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平40.0%</li> <li>・休日64.2%</li> <li>・各学年ともテスト前の放課後学習を実施した</li> </ul>	C	平日の学習時間の確保と2年次の学習時間の増加、学習時間の二極化の解消が課題である。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各科目の11月模試のSSは、特進クラス上位50%の平均50以上、看護医療及び一般の平均40以上</li> <li>・授業改善月間を年2回実施</li> <li>・ICTを活用したAL型授業の公開1人年2回以上実施</li> <li>・英検受験100人、料理検定等受験20人、漢字検定受験30人、情報処理検定受験10人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護医療、一般クラスほぼ達成、特進クラス一部達成</li> <li>・授業改善月間を年2回実施</li> <li>・ICT機器を活用した授業を行っている86.1%</li> <li>・英検受験66人、料理検定等受験19人、漢字検定受験31人、情報処理検定受験10人</li> </ul>	B	現実的な数値目標に変えたため概ね達成できた。授業参観の実施回数が減少した。授業検討会や年次研修と組み合わせるなど、更なる工夫が必要である。料理検定は、受験日が台風となり受験者が大幅に減少した。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・測定ツールの結果を検証し、授業改善に取り組んだ教員80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AL型の導入など授業形態や教材を工夫し、授業改善に心掛けている83.3%</li> </ul>	A	授業改善の目的を明確にし、生徒の学習成果の向上と授業満足度の増加に繋げていく。
	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2年生新体力テストの記録は、春から秋の伸び率50%以上</li> <li>・体育やスポーツ及び心身の健康に関する意識の向上を実感する割合80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・71.5% (新体力テストの結果)</li> <li>・81.5% (新体力テストのアンケート)</li> </ul>	A	評価指標が個人評価や感想に留まっている。客観的に比較できる指標も導入していく。
		心力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケート「芸術鑑賞の満足度」80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大変良かった」68%、「良かった」28.6% 合計97%</li> </ul>	A
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間5冊以上の本を読んだ生徒の割合60%以上</li> <li>・朝読書に積極的に取り組んでいる70%以上</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年5冊以上29% (1～4冊は66%)</li> <li>・朝読書「積極的に取り組めた、だいたい積極的に取り組めた」合計86%</li> </ul>	B	校舎建て替えのため臨時図書室の活用に限界がある。引き続き朝読書の充実に取り組んでいく。
イ	グローバルリーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンソーシアム会議年間2回以上</li> <li>・各学年、地域連携企画または進路ガイダンス等外部の話聞く会の開催年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体コンソーシアム会議は2回実施し、他に個別のコンソーシアム委員との協議を行った。</li> <li>・各学年とも2回以上実施することができた。</li> </ul>	A	オンリーワン・ハイスクール事業の活用もあり、本校の探究学習が系統的に学年進行で進むようになった。2年生の探究学

		<ul style="list-style-type: none"> <li>2回以上</li> <li>・コンソーシアム各機関への情報提供各学期1回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンソーシアム各機関へは随時情報提供を行った。</li> </ul>		<p>習発表会は、ともえ探偵団成果発表会と称し、充実した内容となった。校外で学習内容を発表する生徒も現れてきている。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師の身装指導講話年間1回以上</li> <li>・遅刻1日学年平均3人以下</li> <li>・生徒・保護者向け講話1回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生を対象に着こなし&amp;マナー講座を実施した。</li> <li>・遅刻の1日平均の値が1年1.4人、2年1.4人、3年1.2人</li> <li>・防災訓練では外部講師を招聘できなかったが、2年部で外部講師による保護者向け講話を実施した。</li> </ul>	B	<p>多くの生徒が規範意識をもって生活をしている反面、今年度は特別指導を受ける生徒も増加した。引き続き、日頃の生活から声掛けを行う必要がある。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部活動一地域貢献の実施</li> <li>・全校生徒が年間1回以上ボランティア活動実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの部活動で実情に合わせて実施した。</li> <li>・延べ人数的には、1人1回以上ボランティアに参加した。</li> </ul>	B	<p>「はなきんボランティア」参加延べ人数224人への参加人数の増加など、自主的に行動できる生徒も多く見受けられるようになった。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故10件以下と違反件数の前年比半減</li> <li>・メディアポリシー違反0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故件数は8件</li> <li>・交通違反件数は34件</li> <li>・メディアポリシー違反2件</li> <li>・スクールネットパトロール報告は0件</li> </ul>	B	<p>交通事故数は10件以下であったが、昨年度よりも4件増加した。違反件数は昨年度よりも3件減少した。 ネット関係は新たな試みで週1回のSNS動画視聴を始めたが、引き続き指導が必要。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健だより」隔月発行、朝食摂取率95%以上、治療率70%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健だより7回発行朝食摂取率97.6%治療率内科100%</li> </ul>	A	<p>治療率アップは、保護者の協力が不可欠なので、引き続き担任との連携を充実させていく。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケート「学校行事に積極的に参加」80%以上</li> <li>・生徒意見に対する検討率100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケート「学校行事に積極的に参加」に「そう思う」以上が92.4%</li> <li>・校則の生徒意見に対する検討は100%</li> </ul>	A	<p>少しずつだが自己肯定感が高まってきている。これを自己有用感に繋げられるようにしたい。校則については、次年度に向けて、より整理されたものに検討できた。</p>
ウ	教職員相互及び地域との連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善月間中、公開授業及び授業参観に積極的に取り組む。(各回2回以上参観)</li> <li>・授業がわかりやすいと答える生徒が70%パーセント以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観数前期平均2.2回、後期平均1.6回(通年1.9回)</li> <li>・授業がわかりやすい86.5%</li> </ul>	B	<p>授業参観回数が減少した。他教科からの学びも大きいので、来年度は各教科として授業検討会に取組むように仕掛けていく。継続的に授業改善を進めていく。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・不祥事根絶及び体罰 0</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不祥事体罰事犯 0 件</li> </ul>	A	<p>研修及び適時の情報提供、定期的な自己点検により問題は起きなかった。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育相談だより」の定期的発行。「自己診断シート」の学期ごとの実施・担任及び副担任による教育相談の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育相談だより」は、3カ月に1度のペースで4回発行した。</li> <li>・心の健康調査2回実施</li> </ul>	A	<p>教員のカウンセリングマインドが向上するように工夫を凝らしたい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生一日体験入学参加者数 1,000 名以上</li> <li>・週 3 回以上のツイッター更新</li> <li>・学校広報紙の企画・制作</li> <li>・運営委員等の中学校訪問年 4 回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験入学参加者 709 人</li> <li>・SNS への頻繁な投稿と記事内容の多様化、学校広報誌の制作</li> <li>・運営委員による中学校訪問は 2 回、管理職による訪問は、数十回行った。</li> </ul>	B	<p>一日体験入学は、毎年改善されている。来年は 1000 名から(定員数)X5=800 名に変更し、より現役生徒が活躍できるようにする。学校 PR 委員会を活用して、一層の広報活動に努めながら、引き続き SNS も活用していく。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災連絡会の参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教頭が出席し意見交換を行う</li> </ul>	A	<p>一層地域との連携を深めていく。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・絆メール等を活用し、役員間の連絡を円滑にする。</li> <li>・PTA 総会後の懇談会を実施し、保護者と職員の情報交換の機会とする。</li> <li>・PTA 会員ツイッター登録のよびかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絆メールの利用減少した。</li> <li>・地区懇談会は地区ごとにより評価が分かれた。</li> <li>・X の登録を呼びかけた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員間の連絡は、ほぼ LINE で行われた。地区懇談会は、来年度より廃止となる。SNS も X からインスタグラムに移行しており、変化に対応できるようにしていく。</li> </ul>
エ	教育環境整備の推進及び ICT 教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒全員清掃活動の実施</li> <li>・職員安全衛生委員会の定期的開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒全員が清掃活動を実施した。</li> <li>・全ての職員会議後に職員衛生委員会を実施した。</li> </ul>	A	<p>教員減の中、清掃監督が複数になる場合もあり、改善しなければならない。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算執行状況を定期に確認し、執行率 99% とする。</li> <li>・安全安心な施設の整備のために、法定点検での不備指摘前年比 10% 減</li> <li>・検査における文書指示事項なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・執行状況を毎月末に確認し、効率良く予算執行できた。</li> <li>・法定検査での不備指摘事項は、前年比 25% 減少した。</li> <li>・検査による文書指示事項はなかった。</li> </ul>	B	<p>予算を効率良く有効活用し、法定検査等の指摘事項の解消、教育環境整備・充実に努める。校舎建て替え工事が安全・円滑に実施できるよう連絡調整を行っていく。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新 1 年生の 5 月からの導入実施</li> <li>・Google アカウントを校務に活用できる教員 80% 以上。</li> <li>・Google Classroom を活用できる教員 80% 以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業者の都合により 2 カ月遅れの 7 月からの実施となった。</li> <li>・職員会議をペーパーレス化したため、活用する教員は、100% となった。</li> <li>・Classroom の活用が進み、ICT を活用した</li> </ul>	A	<p>全教員が一人一台端末を活用した授業ができるようにしたい。来年度の入学生に対しては、5 月中旬の納品を目指していく。</p>

様式第 3 号

			授業を行う教員は 86% となる。		
オ	ワークライフバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日 20 時までの完全出勤 70%以上</li> <li>各学期面談実施率 100%</li> <li>各分掌による業務改善の推進、1 分掌 1 業務改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繁忙期には 20 時を超えてしまうことが時々あった。</li> <li>全教職員(部活動指導員含む)と面談を実施した。</li> <li>各分掌ごと業務の改善を行った。</li> </ul>	B	再任用ハーフの先生方も日常業務を分担してもらい、学校全体としてワークライフバランスに努めた。少しずつであるが、時間外勤務の縮減に向けて共通理解が進んでいる。個人による業務量の差を改善していきたい。